

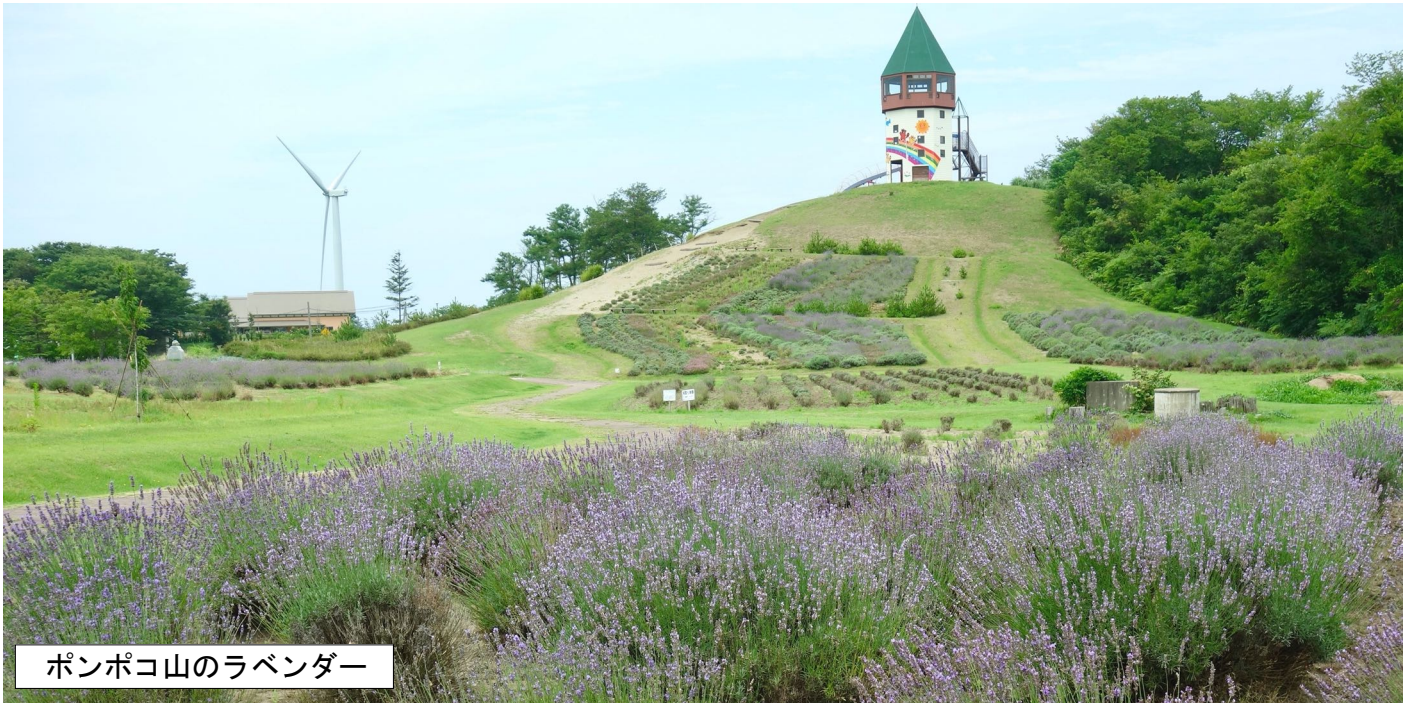
はたはた

千葉 良一 書

Vol. 10

八峰町関東ふるさと会 会報

2019年9月発行



ポンポコ山のラベンダー

第十一回総会を迎えて ふるさと会の繁栄を願って

八峰町関東ふるさと会会長

会員並びに八峰町の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より当会の活動に格別のご厚誼を賜り厚くお礼申し上げます。

私は本年四月一日に神馬前会長の後を受け当会の会長に就任いたしました。

この素晴らしい会を引き継ぐこととなり大変身の引き締まる思いでございます。私は旧八森町中浜出身です。当会の前身の一つである「東京八森会」に出席したことがきっかけとなり、当時の加賀谷光丸氏、藤田秀夫氏、秋山芳輝氏の三代の会長の元で副会長として、その後八峰町関東ふるさと会誕生から神馬会長の元で副会長をさせていただきました。

今後の当会にとって重要な事は、八峰町出身の皆様がふるさとを想い年に一度集う会をどの様に存続させて行くかという事です。それにはまず会員を増やす特に若年層の方々の入会をどの様に推進していくかという難題に取り組むことです。さらには会報作り、ホームページ作り等が重要になります。その他の活動については会のホームページの「会長挨拶」にも載せてありますので、すでにお読みくださっている方もいると思いますが、改めて紹介いたします。

※年一回の総会と懇親会（毎年十一月の第三日曜日）

※会報誌「はたはた」の発行（来年度の寄稿を募集中）

※新規会員の入会推進（八峰町出身の友

戸田 眞里

人知人をご紹介ください。ホームページからも入会申し込み出来ます）

※既会員の現状把握

※幹事の仕事の効率化と充実

※ホームページの充実（当会や八峰町のニュース等）

※八峰町、県人会、各ふるさと会との交流

※関東圏内での八峰町のイベントの後援（物産販売他）

そのほかにも随時必要となった事柄への取り組みなどがあります。

今後皆様方のご理解とご厚誼に預かりながら会が益々繁栄します様役員（幹事）共々頑張る所存でございます。

最後に八峰町の皆様、会員の皆様、この会報をご覧の皆様のご健勝をお祈り申し上げ私の挨拶とさせていただきます。

会長退任の挨拶

神馬 信一

平成の大合併で、平成十八年三月二十七日に、「八峰町」がスタートしました。その2年後の平成二十年十一月二十日に「八峰町関東ふるさと会」が誕生し、初代会長として昨年の第十回記念大会まで十年間に渡り、恵まれた環境の中で微力ながら勤めることができました。この間、会員並びに八峰町の皆様方の多大なるご支援を頂きありがとうございました。

これからは、会の発展に陰ながら応援していきたいと思っています。



関東ふるさと会員の皆様へ

八峰町長 森田 新一郎



私たちの故郷

八峰町議会議長 門脇 直樹



ふるさと会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、三十年続いた「平成の時代」から新しい年号の「令和の時代」になった大きな節目の本年は、かつて秋田藩と津軽藩との境界、現在の県境が決められてから四百年ということ、これを記念し七月十三日と十四日の二日間、深浦町と一緒に「秋田へ行こう！津軽へ行こう！八峰・深浦国境四百年まつり」を開催いたしました。

江戸時代が始まったばかりの西暦千六百十九年から、四百年という長い時を超えて、県境をはさんだ両町が手を取り合っ

て、世界自然遺産白神山地の恵みである海の幸や山の幸などの魅力発信や多彩なイベントを行う「四百年まつり」を開催し、これを契機とし両町の今後の交流をより一層深めていくことには大きな意義があると考えたからです。

会場は県境に近いということで「八森いさりび温泉ハタハタ館」の駐車場に特設会場を設置し、活きアワビのワイン蒸しやハタハタのメンチカツ、ホタテ汁やマグカツドック（マグロのカツをはさんだホットドッグ）などの両町のグルメを始め、エフエム秋田とエフエム青森の二局同時の公開生放送と会場内舞台の公開イベントにおける私と吉田満深浦町長との自慢対決（十三日は私と能代高校同期生の菊地雄司副町長）や冷凍庫でガチガ

チにした産直ブリコ「さるなしソフト」の早食い競争などを行いました。天気にも恵まれ多くの来場者で賑わい、会場内の屋台が売り切れ続出するほどでした。

「四百年まつり」の次の週に両町の三役同士で今回のイベントの検証、両町の課題や今後の交流のあり方などを意見交換し、観光や漁業、国道や高速交通ネットワークの整備など様々な分野で連携・協力していくことで合意いたしました。また、昨年の四月に町長を務めてから早いもので一年以上が経過しました。毎月のほとんど毎日、懇親会付きの会合にお招きされたり、ふるさと会や県人会や政府への要望活動などで、東京中心ですが県外出張が頻繁にあつたり、高齢者と呼ばれる領域に入ってから人生で初めてということの連続です。年間で土日も含め三十日ほどの休みだけという忙しさですが毎日が充実し、「私の人生は本当に面白い人生かも」という思いを強くしています。これまでは六十歳定年が私の一般常識であり人生のピークと思っていたのですが、健康であれば、実は七十歳くらいが、知識、経験、人脈、能力などから人生のピークになってきているのではないかと考えているところです。

終わりに「八峰町関東ふるさと会」が戸田眞里会長を先頭にますますご発展されますとともに、会員の皆様のご多幸と今後のご活躍をご祈念申し上げます。

八峰町関東ふるさと会会員の皆様におかれましては、変わらぬご活躍のこととお喜び申し上げます。

関東では記録的な日照不足が話題になっているこの頃です。秋田は連休明けからの少雨に田植えのできない農家、田植えをしたけれども水が供給できず稲作を断念した農家さんもおおいになったほどです。小さい国でも広いものだと改めて痛感しております。それでも、異常気象で災害に見舞われる地区が全国各地にある中で、幸い八峰町は大きな災害に遭うことなくこの数年を過ごしてまいりましたことは、幸甚なことでもあります。

午前3時、静まり返った暗闇の中に、船のエンジンが鳴り響き、今日も板子一枚命を懸けて出航していきます。夜明けとともに網を入れ、一服タイムには愛妻弁当。

穏やかな海と輝く朝日に照らされながら、魚群を追い求めてまた舵を切る。夏は白キス漁、秋にはマグロなんかを獲った時期もありました。もちろん冬はハタハタ漁。漁師だった私の父の一日です。母は3時に持たせる弁当を作るため、もつと早起きをして米を炊き、無事を祈り見送ります。

今日、私も父と同じ時間に目を覚ますようになり、己の年齢を感じずにはいられません。朝一番にお湯を沸かしてコーヒートを淹れ、カップ片手に浜を見下ろし、朝日に空も海も一瞬一瞬で色が変化していく様子を、ただただ眺めています。その美しい景色は、毎日見ても飽きることはありません。

みなさんの、ふるさとの思い出はどんな景色でしょうか。振り返れば、ずっと故郷に暮らしていても、改めて思い出と言われれば、それは幼い頃、両親とともに過ごした時間の景色なのかもしれません。父がいて、母がいて、じいちゃんもばあちゃんも、隣の家のおじちゃんも、本家の父さんも、そこにある当たり前の暮らしの景色そのものが、故郷というものなのではないでしょうか。

1年に1度の八峰町関東ふるさと会。会員の皆様、どうか私たちの秋田弁に、幼い頃のふるさとの景色を、あの日と同じ雄大で美しい故郷の山と海と川と町を振り返って、楽しい時間を過ごそうではありませんか。そして、思い出とともに、変わりゆく故郷の課題についても、語り合おうではありませんか。故郷を思う思いは、物理的な距離を超えて、繋がっていると思っています。そしてこれからも、八峰町関東ふるさと会の皆様方にもご助言、ご指導をいただきながら、愛する故郷の発展のため、町議会も行政と一体となり、努力して参る覚悟でございます。

最後に、会員の皆様のですますの健康勝と、八峰町関東ふるさと会のご繁栄をご祈念申し上げます。

第12回「キャリア教育優良教育委員会」として文部科学大臣賞を受賞

八峰町教育委員会学校教育課

山本 望

八峰町では、持続可能な地域づくりが地域課題の一つであり、小・中学校でキャリア教育の視点を重視したふるさと教育を推進しています。

八森小学校では、日本海、白神山地、ジオパーク等の豊かな自然環境を学習のフィールドに行われる体験学習、地域の伝統文化や人々に触れる体験学習、農業や漁業などの一次産業に代表される地域の産業に関連した栽培学習などが主に実施されています。

一方、峰浜小学校では、4年生が栽培したラベンダーで製作したサシェ（香り袋）を、一人ひとりがデザインしたシールや町をPRする手紙と一緒に袋に入れて、10月の「八峰町んめものまつり」で販売しました。



八峰中学校では、「フィールドワークからアントレプレナー（起業家）へ」をコンセプトに、1年生は地域の産業に触れる職場体験学習、2年生は地域活性化に貢献する活動として、秋田駅ポポロードにて「特産品

販売」を体験（写真参照）。また、3年生は、職場体験や特産品販売のノウハウを生かし、起業体験を行いました。

●生徒が会社を設立し商品を開発・販売

模擬会社設立に向け、事前に専門家を招聘し、起業することの意義、起業するために必要な法知識やノウハウを学び、また、地元商工会等の支援によりワークショップ等を行いました。模擬会社設立後は、生徒達が商品開発、広報・宣伝、店舗販売の各担当に分かれて準備を進め、店舗での販売活動を実施しました。

具体的には、小学校で栽培された作物を中学校で起業した会社が買い上げ、それを材料にした商品を開発し、製造を町内及び能代市山本郡内の業者に委託して商品の販売活動を行っています。生徒の希望、創意工夫を生かし、事業を進め、町内外5社と商品開発や販売活動を実施できました。

●ふるさとを支える人材育成から地域の活性化が期待される

「フィールドワークからアントレプレナーへ」のコンセプトを進めてきた八峰中学校型キャリア教育が軌道に乗り、一定の成果が見られました。結果として、児童生徒がふるさと八峰町の一員としての自覚を高め、目標とする力を確実に身に付けることにより、ふるさとを支えている人材の育成につながっています。

このような活動が評価され、第12回「キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰式」において、文部科学大臣賞を受賞しました。学校が中心となって実施した事業ですが、地域への波及効果はかなり大きく、今後は、この取り組みにより地域が活性化することが期待されています。

八峰町コミュニティ・スクール（CS）の活動紹介

CSディレクター

工藤 金悦

●コミュニティ・スクール（CS）って何？ コミュニティを勉強する学校？

いえ、違います。CSとは、『保護者や地域住民の意見を反映させるために、学校運営協議会を設置している学校』のことです。文科省が進めている事業で、平成29年4月に関係法律の改正が施行され、設置が努力義務になったこともあって、全国的に取り組む学校が増えていきます。学校運営協議会では、委員が学校運営の基本方針について承認するとともに、校長、教育委員会について意見を述べたり、学校運営の支援についても協議できることになっています。

●そんな堅そうな協議会必要なの？

との声が聞こえてきそうですが、文科省としては、子どもたちや学校を取り巻く課題が複雑化・多様化しているため、学校と地域が教育ビジョンを共有し、連携・協働しながら社会総がかりで教育に取り組んでほしいとの意向があるようです。

さて、八峰町のCSを紹介しましょう。当町では、平成29年度から八森小学校、峰浜小学校、八峰中学校3校合同のCSを始めています。協議会の委員は、住民代表、関係団体、有識者、PTA、学校、教育委員会などから選ばれた20名で構



成され、地域とともにある学校づくりを進めて、「将来の八峰町を支える人材の育成」と「持続可能な地域づくりの推進」を目指しています（写真参照）。

●ふるさと学習とキャリア教育

八峰町の学校では、地域のさまざまな人・団体の力を借りて、町の自然や暮らし、文化、産業などを学ぶ「ふるさと学習事業」が数多く行われています。また、地元企業のもとで、職場体験、地元特産品の調査・販売、起業家体験等に取り組み「キャリア教育」も活発に行われています。

学校と地域が協力し合うことで、地域に笑顔や元気が生まれています。

●八峰町は大丈夫だなー

と思った方、実は大きな課題があります。今年度の新中学1年生は43人、新小学1年生は2校合わせて26人と少子化が急激に進んでいるのです。みなさんの時と比較してみてください。愕然とすると思います。

先の第1回回学校運営協議会では「優秀な子どもたちを育てても、町外に出て行ってしまえば、協議会で目指している『持続可能な町づくり』に反することになるのではないか」との意見が出ました。これに対し、「町に戻ってくるのが好ましいが、たとえ町外に出て八峰町を誇りに思い、胸を張って町の良さを伝えられる生徒や、町を想いさまざまな形で貢献できる生徒を育てたい」と学校からの回答がありました。

私たちのCSの取り組みはきつと実を結びと信じて、今後も活動を継続していきます。

人口増を目指して、移住・定住／子育て支援対策に加えて、町の魅力度アップを図りたい

八峰町関係ふるさと会幹事 須藤 正喜

●八峰町の人口減少率は全国144位
過去3年間の人口減少率で、八峰町は全国144位(表1参照)。近隣の藤里町、三種町、青森県の深浦町よりは低いとはいえ、減少率はやはり大きい。

●20年後の八峰町の人口は4180人？

直近の3年間の出生数は、表2の通り低位を継続しており、極めて厳しい状況である。『八峰町まち・ひと・しごと 創生総合戦略』(H27年11月)の中でも、20年後の「2040年の人口は4180人になる」との推計が紹介されている。

●子育て支援・住環境整備・雇用創生策

八峰町でも「移住・定住」を促進して「出生数」「転入者」を増

表1 人口減少率が高い自治体(2015~2017年)

順位	都道府県名	市町村名	増減率(%)	人口(人)
52	秋田	上小阿仁村	△8.29	2,102
67	青森	西目屋村	△7.94	1,356
73	青森	深浦町	△7.79	8,463
87	秋田	小坂町	△7.54	5,235
12	秋田	藤里町	△7.14	3,374
144	秋田	八峰町	△6.74	7,361
151	青森	大鰐町	△6.70	2,742
167	秋田	五城目町	△6.63	9,524
174	青森	鱒ヶ沢町	△6.47	10,306
206	秋田	羽後町	△6.26	15,343
230	秋田	男鹿市	△6.06	28,407
244	秋田	三種町	△5.93	17,084
288	秋田	北秋田市	△5.66	32,837
290	秋田	仙北市	△5.64	26,911
330	秋田	湯沢市	△5.36	46,330
386	秋田	鹿角市	△5.07	31,604

東洋経済新報社『都市データパック2019年版』(調査対象:47都道府県/815市・特別区/926町村)を参考にして秋田・青森両県の市町村を抜粋した。

表2 八峰町の過去3年間の出生数(人)

年	出生数	転入数	人口
2016	17	122	7,525
2017	24	137	7,361
2018	23	103	7,201

*毎年、転出者や自然減があるため、人口は年々減少している。7,092人(2019.6.30現在)

表3 伊仙町・奈義町の主な子育て支援策

伊仙町	子育て支援金:第1子5万円・第2子10万円・第3子以上10万円/1カ月の児童手当:3歳未満一律1.5万円・3歳以上1万円・中学1万円。
奈義町	出産祝い金:第1子10万円・第2子15万円・第3子20万円・第4子30万円・第5子以降40万円/育児支援手当:幼稚園入園前まで1万円/高校生まで保険診療医療費は無料。

表4 八峰町の移住推進・子育て支援策

■移住・定住対策 目標(社会減の抑制):△71.6人(H24~H26の3年平均)→△35.8人(H29~H31の3年平均) /達成状況:△79.3人(H25~H27の3年平均)→△54.0人(H27~H29の3年平均)	
1. 住まいづくり応援事業	
①新築支援事業	補助率100%/限度額200万円
②リフォーム支援事業(工事費30万円以上~)	補助率15%/限度額30万円(移住世帯特例:補助率15%/限度額100万円 多子世帯特例:補助率15%/限度額50万円)
③空家購入等支援事業	補助率50%/限度額50万円
④定住促進用空家改修事業	耐震性等が確保されている状態の良い空家を町が10年契約で借り受けてリフォームを加え、定住希望者に貸し出す空家整備事業
2. 移住・交流の促進事業	
①まちづくり活動支援事業(少子高齢化・空家など解決事業)	補助対象経費の2/3、または50万円
②交流促進事業(移住ツアー・グリーンツーリズムなど)	補助対象経費の10/10、または30万円
■少子化対策 目標(出生数):26人(H26)→40人(H31)/達成状況:19人(H27)→24人(H28)→17人(H29)	
1. 結婚新生活支援(住宅購入・賃貸・引越し費用の補助)	最大30万円
2. あきた結婚支援センター登録料助成	10,000円全額助成
3. 出会いイベント開催費助成	最大50万円(補助率10/10)
4. 子育て支援	児童手当:3歳未満15,000円/3歳以上小学校修了前10,000円(第3子以降は15,000円)/中学生10,000円 育児助成金:小・中学校入学時1人3万円 赤ちゃん誕生祝金:第1・2子5万円、第3子以降10万円
■教育環境の整備	
1. ICT教育環境整備/②ふるさと教育推進/③英語教育推進など	
■雇用創出のための産業振興策 目標(新規雇用者数):100人(H31年度までに)/達成状況:27人(H27年度)0人(H28年度)、22人(H29年度)(計49人)	
1. 菌床しいたけ産業基盤強化事業	菌床しいたけ関連産業新規就業者:H26(199人)→H31(305人)(106人増) 菌床しいたけ販売額:H26(625百万円)→H31(1,000百万円)(375百万円増)
2. 生薬栽培推進事業	試験栽培の継続。栽培農家カミツレ6、キキョウ3(H29年度実績)
3. 雇用創出活動支援事業	町内で起業または事業を展開中の中小企業等に対して、雇用奨励や創業支援などの経費の一部を補助。①雇用奨励費:限度額100万円以内で最高3名まで。②創業支援費:限度額100万円以内。
4. 起業チャレンジ応援事業	町内で起業する者に対し、経費について補助金を交付する事業。最高で50万円×3年=150万円

やして人口減少に歯止めをかけるために、「産業振興―雇用創生」「住環境整備」「子育て支援」のきめ細やかな各種の対策が取られている(表4参照)。

●出生率が高い自治体の対策は? 合計特殊出生率が全国No1の鹿児島県伊仙町の子育て支援策は表3の通り。同町は保育所を増やし年齢ごとの幼児教育の充実が特徴。岡山県奈義町は人口約6000の小さな町で、人口減少策として

特に「子育て支援策」に注力している。

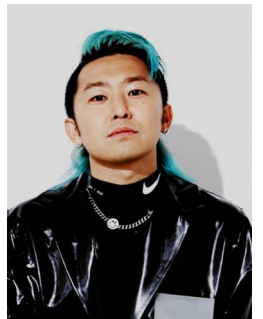
●子育て支援と町の魅力度アップを人口増の自治体は「町の魅力作り・アピール」に成功している。八峰町は「小中の教育レベルの高さ」に加えて、「食」「自然資源」が魅力だ。キス・アユ釣りに遠方から訪れる。宿泊しながら自然を

楽しむ「グランピング」、仕事を持つ例えばIT系フリーランスに訴求する「ワーケーション」(ワーク+バケーション)推進も可能性がある。農水省の「デイスカパー農村漁村の宝」へのチャレンジも期待したい。町の活性化へのため、ふるさと会も協働していきたい。

源泉

工藤 尚弥(東京都渋谷区在住)

(浜田出身)



す。

八森浜田出身の工藤尚弥と申します。現在、東京の電通という広告代理店で、CMプランナーや東京オリピック絡みの仕事などを行っています。僕は高校卒業後に秋田を離れ、大学を出て東京で働くようになってから、日本酒がとても好きになりました。社会人になって、たまたま入ったお店で、たまたま飲んだ日本酒。これはおいしい！！とラベルを見ると、秋田のお酒。住所を見ると、秋田県山本郡八峰町八森・・・あれ！八森だ！そう、八峰町が世界に誇る、山本合名さんです。そこで初めて知った、「山本」にすっかり魅了され、実家から季節商品を送ってもらったり、帰省するたびに買って帰るようになりました。

さて、ふるさとの思い出、ということ・・・覚えてる人もいらつしやるでしょうか、「白神の夢」という映画。もう20年近く前ですかね。東京で映画監督をされていた小池監督が八森舞台に撮影した記録映画です。当時、僕は八森小学校の児童として、なんのことやらわからないまま、「出演」していました(笑)。白神こだま酵母をつかって大塚せつ子さんが作ったパンの味。ミジンコ研究家でミュージシャンの坂田明さんの「ミジンコはミジンコをしている。人間は人間をしているか。」という言葉。カメラを向けられながら、白神にまつわる人たちとふれあったこと、いまでも覚えております。

最近になって、実は僕も映画を撮る仕事をしてまして、当時の経験が僕にとつては、今の仕事をめざす原体験になってたのかもな、と思います。僕も精進していつか「白神の夢2」を撮れる日がきたらいいな、なんて思っています。

まだ、原稿の字数が足りませんね。では、おじいちゃんの話。(あんまり言うともた「しよがる」かもですが!)僕の祖父は、八森で教職をやっていた工藤哲弥なんです。祖父は現役時代、生徒さんたちから怪人二十面相「にんじゅ」というあだ名で呼ばれていたそうです。「というあだ名で呼ばれていたそうす僕が今年のゴールデンウィークになにか家族をテーマに作品を作ろうと帰省した際に、そのことを思い出し、僕の服を着てもらって祖父を「二十変化」させて写真を撮りました。それをネットにアップしたところ世界中から大反響!一夜にして有名人になってしまいました。祖父はネットを見ないので、せっかくだから9月の敬老の日に合わせて、写真展を開いておじいちゃんを招待してあげようかなと思っています。

僕は、どちらかというと郷土愛が強い方ではないと思っていました。今の自分が作る作品やアイデアを紐解いて辿ると、なんかかんで、その源泉は故郷の思い出や家族だったりするなと感じる今日このごろです。それでは!

八峰町 ふるさとの思い出

角鹿 久美子(埼玉県入間市在住)

(八森出身 旧姓 菊地)



ご実家はどちらですか?と聞かれると、秋田音頭の八森ハタハタの♪現在八峰町と町名が変更になりました。世界自然遺産、白神山地のおひざ元の秋田側です。小さな町ですが、山海の幸が両方味わえる良い処ですよ、と答えています。

私は高校卒業と同時に八森から上京しました。印象深い思い出は小中学校時代です。小学校入学は、前回の東京オリピック開催の年でした(年齢がばれてしまいました)。当時小学校は古屋敷地区にあり、実家から徒歩で片道20分程かかりました。春は桜の花を愛で、小川をスイスイ泳ぐ蛇を眺め、夏は日本海に沈む美しい夕日を眺め、粒々の稲の白い花を見て、秋はたわわに実った黄金色に輝く稲穂の匂いを感じ、真冬は日本海からの吹雪を体を受けながら真っ白になって通学しました。お陰様で寒さに強く足腰が丈夫に育ちました。

中学校は当時椿台地区にあり、東八森駅から八森駅までSLに乗り、徒歩で樹木の生えない糠森山を見上げ、友達とおしゃべりしながらの通学でした。

通学とは別に思い出すのは、冬の薪ストーブの薪運びです。授業時間にクラス全員で行っていました。教室での授業より外での薪運びが嬉しかった私にはこのことが強く印象に残っています。大きな薪ストーブで霜焼けのホッペを赤くし授業を受けたことを思い出します。

故郷の思い出の食べ物、家族で囲むハタハタのしよつる鍋や、きりたんぼ鍋は勿論、鍋っこ遠足で、だまこ餅鍋を作って食べたこと。白神山系のおいしい水と清々しい空気と一緒に存分に味わいました。贅沢な懐かしい思い出です。

【山の幸】アザミ、シドケ、ボンナ、蕨、ウド、根曲り筍など。お浸し、和え物、てんぷら、煮物等。独特な風味。当時の山菜取りは奥山に入らなくても、猿に襲われることも無く子供でも安全でした。

【海の幸】岩館海岸で貝や、雲丹を取り、その場で採れたてを堪能。天然海産物がとてもおいしかったです。

今は亡き祖母、両親の味にはかないませんが、今も帰省の際には観光市や地元魚屋さんで食材を調達。料理をしてふるさとの味を堪能しています。現在は海無し県に住む私ですが、このレシピは私の一生の宝物です。

私の故郷八峰町は、世界に誇れる世界遺産同様、景色が美しく、食べ物も美味しく良い処です。次代を継ぐ子供達は、(私がそうだったように)何も変化が無くつつまらない田舎などと思わずに、鹿島様、神輿の滝浴び、雄島の花火大会、盆踊り。盆の墓参り。ご先祖さんを敬う文化をどうか継承して欲しいものです。そして、学力が高い秋田の子供たちが、地元に残って能力を発揮できるような環境が整うことを願っています。

目標は、 4年後のラグビーワールドカップ出場

齊藤 剣 (千葉県浦安市在住)
(磯村出身)



プロフィール…能代工業高校↓明治大学↓NTTコミュニケーションズシャイニングアークス(トップリーグ)所属のラグビー選手。身長177^{cm}、体重115^{kg}。ポジションはフォワード・左プロップ(1番)。

●ラグビーを始めたきっかけは？

父と兄が能代工業でラグビーをやっていたので、その影響で興味を持ち、有力選手だった兄から基本を教わった。

●能代工業時代の活躍は？

能代工業時代に嬉しくて印象に残っているのは、2年の時に東北6県選抜チームの一員に選ばれたこと。北海道から九州の全国9地区の選抜チームが3ブロックに分かれて4試合を行った。優勝は九州選抜だったが、東北選抜はスクラムの強さが評価を受けて注目され、この大会が個人的な飛躍の契機になった。

3年時には高校ジャパン候補に選抜されたが、合宿では顔見知りが少ないため遠慮深さが出て、練習時にアピールができなかった苦い思い出が残っている。

●明治大学時代の活躍は？

明大へはスカウトされて入学。1000人強の部員がAとDの4チームに分かれ、A・Bの上位は約20人に精選される。1年時はDからのスタートで、「4年でBまで上がりたい」というのが目標だった。

2年時「U20日本代表(約30人)」に選抜。3年時は絶好調でスタメンに登録

され、「関東オールスター選抜」にも選ばれた。大学日本一を決める選手権大会の決勝ではリザーブながら試合に出場し、帝京大学に敗れたが準優勝。すでにNTTコミュニケーションズから入社の誘いを受けており、「平成29年度八峰町スポーツ文化栄誉賞・町長特別賞・スポーツ栄誉賞」を受賞(平成30年度も同賞を受賞)。

昨年の4年時はAチームだったが、試合2カ月前の怪我が影響して大学選手権ではリザーブにまわった。決勝戦で天理大学を破って優勝したものの、試合は後半の最後に短時間出ただけで、優勝にもかかわらず悔しくて心から喜べなかった。

●NTTコミュニケーションズでの目標は？
現在入社1年目。平日午前中は東京本社で仕事、午後から千葉県新浦安のグラウンドでウエイト・ランニング・タックルなど約5時間練習し、週末は試合と「ラグビーが生活の中心」となっている。6〜8月は国内のカップ戦、9〜11月のワールドカップ終了後、2020年1月からリーグ戦が開幕。リーグ戦でのメンバー争いは激しいと思うので、自分の特徴のスクラムの強さをアピールしていく。筋力的には負けてないため、テクニク面に磨きをかけ多くの試合に出場したい。今後はチームのスタメン→トップリーグ日本一→日本代表、そして4年後のワールドカップ出場目指して頑張っていく

故郷離れてもう53年

安孫子 光子 (東京都八王子市在住)
(檜台出身 旧姓 佐藤)



い。八峰町ふるさと会の皆さん、今後とも応援をよろしくお願いします。(本稿 ました)

八森、八峰町の皆様こんにちは。高校卒業後、故郷離れてもう53年、半世紀です。月日は早いものです。

2年前に古希を終えて、後期高齢者へまっしぐらの真正正銘のお婆ちゃんです。八森は生まれ育ったところですので沢山の思い出があります。雪解けの頃、土

が見え始めた時の嬉しさ、長靴は泥だらけ。海水浴、黒んぼ大会。夕焼け。ぬかもり山。小学6年生の時、友達と正面から登って下を見たら足が竦みひたすら頂上まで登った事。正面からは危険でした。歌謡曲『五能線』で歌われる「窓いつぱいに日本海」「夕日が落ちる日本海」。

冬の稜線は墨絵の如く綺麗でした。大家族でしたが、今は両親、兄、妹が他界、その他の兄、姉は関東住まいで、実家は更地です。あつという間の出来事のようにです。

現在、八王子市に住んでおり、最寄り駅は京王線の南大沢駅で、多摩ニュータウンの一角です。

平成ぼんぼこ狸合戦のアニメ映画の舞台となったところです。モダンな新しい街並み。三井アウトレッドパーク(約140店舗)と都立大学(ドイツ人デザイナーの建物)のある新しいタイプの若者の街です。月末には、マルシェがオープンし、近隣より家族連れや、若者達で一層

の賑やかさとなります。

私は地域のシルバークラブで、近隣の皆様と月1回のウォーキングや茶話会、木曜日は24式の簡易式太極拳、金曜日はフィットネス、月1回火曜日のゴミ拾い(ボランティア)、孫の訪問時々。70代、それなりに動いております。

今年の去る6月、八森中学校第16期生25人で母畑温泉へ1泊で出掛けました。過去にも、岩手の大沢温泉、会津の東山温泉、仙台の作並温泉などその他多数出掛けました。今回の母畑温泉は評判通りのホテルで、今まで同様、1次会2次会と楽しく大盛会でした。健康でないとか加できませんので、お互いに健康に気をつけましょう、又、来ましようか?と言

いながらお別れしました。皆様から楽しく沢山の心のサプリメントをいただきました。した。

八峰町は自然豊かな海あり、山あり、空気、食べ物美味しく、いいとこどり沢山ですが、残念ながら、交通の便は正直辛い。あきた白神駅では乗降はできても切符は買えない。タクシー無し。

それでも、帰省して知人、同期生と出会うのは楽しいひと時です。故郷の皆様、出会うことがありましたら、声掛けしてくださいれば、嬉しく思います。

は齊藤さんに電話取材し編集部でまとめました)

ふるさとを離れて

神馬 和夫(福島県新地町在住)
(小手萩出身)



就職先をIHI(石川島播磨重工業)に希望していた私は瑞穂工場に勤務する事が決まりジェットエンジンの製造に関する様になりました。工場ではエンジンの製造とオーバーホールをしており、民間エンジンでは一年間で百五十台ものオーバーホールを実施しております。皆さんが利用される世界の航空機にはIHIで製造した部品が殆ど使用されており、各国の航空会社からエンジンが工場に運ばれて来ます。工場に搬入されてから六十日目には最終組み立て終えて出力試験をやりに出荷となります。世界三大メーカーで開発したエンジンにもパートナーとして加わり、新素材等を提案しエンジンの軽量化及び耐久性に貢献しております。私が入社した時から既にロケットエンジンにも関わっておりはやぶさ一号や今回のはやぶさ二号での小惑星からの石の採集にも技術が大きく貢献しております。瑞穂工場には宇宙基地で実験するものと同じ装置が設置されており、当時宇宙飛行士の毛利さん、向井さんがトレーニングに来ておりました。また野口宇宙飛行士はIHIの同工場の出身で昼休みは運動する仲間の一人でした。

平成二年に米国人で工場に駐在していた方と親しくなり、日本では(JKCジャパネネルクラブ)で公認されていなかった【オーストラリアンシェパード】を紹介されました。大好きな私は早速彼の家を訪問し愛犬を見る事が出来たのです。

この犬種の運動能力の高さと賢く格好よ

さに一目惚れでした。子犬の中から一頭飼ひ始め、この犬種を日本に紹介しようと思ひ立った私は、彼に頼んで本場米國から良血のラインを輸入する事になったのでした。ドックショーへギャラリーとして二頭連れて行くと、我々の周囲に人が沢山集まり審査員も見たことが無い犬種だねえという事で感心していました。犬の専門誌の表紙を飾ったりし、JKCでも関心を持ち始めました。平成五年にはようやく日本で初めて公認犬種となりました(JKC登録第一号と第二号が我が家の愛犬でした)。

当時もつと環境の良いところで繁殖したいと考えていたところ、IHIが事業拡張のため福島県相馬市に工場を稼働するのに伴い相馬工場から二キロの場所に三百坪の土地を取得し自前のドックランと犬舎二十坪に(エアコン・扇風機・トリミング室込み)の設備で繁殖家の資格を妻が取得しピーク時には十二頭との生活でした。我が家で繁殖した中で四頭がドックショーで日本一に輝きました。繁殖は十五年前に辞めて最後の愛犬は三年前に亡くなりました。

現在、趣味はカラオケになっていますが、日課だった自転車での犬の散歩時自宅から徒歩一分位の石田さんの家からカラオケで演歌が流れる事があり、「演歌好きなんですわね」と声を掛けたらその週末にカラオケの部屋に誘われました。

部屋にはトロフィーや歌手と一緒の写真が飾ってあったりで直ぐに石田さんはプロの歌手だと分かりました。石田グループには約三十名の仲間があり、何度か伺っているうちに大会への打診があり、百名以上の一回目の大会で優勝してしまつた

未来に繋げ、八峰町の力

マーク カトラリー(長野県軽井沢町在住)
(東京都出身)



もしかすると、「はたはた」史上初のアメリカ人登場なのではないかと光栄に思っています。

私の母が旧峰浜村内荒巻出身で、幼少の頃はよく家族で東京から遊びに行きました。行く度に親戚中が集まり、今では185センチの私の事を当時は「ちびちゃん」と呼んで可愛がってくれました。

親戚の子供たちと野山を駆け回ってアケビ、キノコ採りや栗拾いをしたり、だまこ餅作りの手伝いをしたり、楽しい思い出ばかりです。外国人が珍しい時代に旧峰浜村ではいつも温かく迎えてもらいました。

大人になって私はビジネスの世界に入り、27歳で小さな外資系企業の日本支社長を任せられ、その後事業立て直し役としてソフトウエア、半導体などの社長を歴任し、昨年までアメリカの大手複合企業のアジア副社長として、日本人1400人を含む約5千人を任せられ、在任13年の間に企業業績を10倍に上げることに成功しました。

58歳の現在は引退し、愛車の軽トラを乗り回してセカンドライフを満喫しつつ、ビジネスの経験を活かして現在拠点を置

のでした。二年前には八峰町関東ふるさと会で披露させて頂きありがとうございました。昨年後半から今年と福島県・宮城県の大会で優勝・準優勝・最優秀歌唱賞と上位に選出され名前が知れ渡つてしまつた最近です。

いている軽井沢で地域活性のためのアドバイスなどを行っています。

さて、ここからは未来の話に少し触れたいと思います。車も自動運転に変わっていく時代、2025年には、労働者の75%がミレニアム世代(子供のころからインターネット環境に親しんできた世代)になると言われています。先日某有力紙で発表された「2040年までに国内の896市区町村が消滅する」という記事に日本中が震撼しましたが、私は八峰町に未来がある事を願っています。八峰町には豊かな自然と人々のおおらかさがあり、多くの潜在性を秘めています。残念な事に人口増加には繋がっていません。しかし今、皆で知恵を出し合つてチャレンジし続ければチャンスは生まれるはず

です。私の信条は「無理とは可能性が一切ないこと、可能性を見いだせれば無理ではない」。諦めずに可能性を探すことで未来は開けると確信しています。

私が力になれる事があれば声をかけて頂きたいと思ひます。将来も魅力溢れる町であり続けるよう、心から応援していきます。

八森ブルーウェーブ 躍動の軌跡

八森ブルーウェーブ親の会
前会長兼応援団長 工藤 善美

平成最後、秋の新人秋田県大会、決勝戦後半、サード強襲の打球を体で止め、ファーストに送球、アウト！ しかし、下腹部の痛みのためサードがその場に倒れこんでしまう…。回復のため、腰を叩いてもらい、ジャンプをする。そんな時、応援席からの「みんなでジャンプ！」のひと声に反応し、グラウンドにいた選手たちが一斉にジャンプをし始めた…。決勝戦の張詰めた空気の中で、ふと笑顔がこぼれた一コマである。

のちに、この場面を見ていた他のチームの保護者から、「八森さん、チームの雰囲気良いですよ。このチームなら勝つって思いましたよ」とお褒めの言葉を頂いたように、この日の選手たちは、地元開催も相まって、いつもと同じリラックスした状態で試合に臨んでいるように感じられた。



応援席には学校の先生、選手たちの同級生・保護者、親戚、知人、近所のおじさん・おばさんに至るまで駆け付けてくれ、まさしく八森を挙げての大応援団が結成されていた。そんな良いムードの中、初回

に先制し、終始追いつかれる事なく試合を進め、強豪「角館マックス」を6対2で下し、みごと全県優勝を成し遂げる事ができた。

2年連続上位の成績を残せた事で、他のチームから「どうして毎年強いのか？」、「どんな練習をしているのか？」という質問をされる事がある。

自分のチームの練習しか知らない私からすると、特段変わった事をしていないように感じていないのだが、改めて考えると、今日できた事でも次の日になれば忘れてできない選手たちに、低学年（3年生）の頃から、何度も何度も（それこそ教えるのが嫌になるくらい）繰り返して教えてくれている監督・コーチの【忍耐力】。そして、誤ったプレーをした時の叱り方と、良いプレーをした時の褒め方の【絶妙なバランス感覚】がここまで良いチームに育った原動力なのではないかと今更ながら実感している。

6年生の本番、全国大会へと続く夏のマツク秋田県大会では、秋夏連覇を胸に挑んだものの、惜しくも準決勝で敗退、ベスト4という成績で幕を下ろした。

私がこの一年、選手達に伝え続けた言葉は、ラテン語でPlus Ultra（プラス・ウルトラ）、意味は「もっと先へ」「更なる前進」である。

今後それぞれの道に進むにあたり、6年生は中学校に向けての更なるステップアップを、新チームは6年生が果たせなかった全国大会出場を胸に、現状に満足せず更なる上を目指して日々精進してもらいたいと思う。

最後に、今後とも変わらぬ応援を八森ブルーウェーブにくださいますよう、よろしくお願い致します。

ふるさと納税のご案内

H20年度からH26年度までの7年間で、201件総額10,212,000円のご寄付があり、

H27年度 934件 12,407 (千円)

H28年度 1,310件 22,877

H29年度 1,516件 33,716

と年々増えております。

これまでに「ふるさと応援号（研修バス）」などを購入し、町内の団体が実施する事業に活用しています。

今後ともご協力をお願いします。

お申し込み・お問い合わせ先：八峰町企画財政課

電話：0185-76-4603

E-Mail：kikaku@town.happou.akita.jp

広報『はっぼう』でみる 八峰町の出来事

広報「はっぼう」のお申込みは
八峰町役場企画財政課まで
電話：0185-76-4603
FAX：0185-76-2113
年間購読2,000円（毎月1回発行）

* 八峰町HPからも見られます。
「広報 はっぼう」で検索。
<http://www.town.happou.akita.jp/docs/2015090900718/>



6月 水沢川でのアユの稚魚放流



4月～5月 御所の台の桜まつり



3月 こども園ひなまつり

首都圏で行われる八峰町参加の催し物案内

町イチ・村イチ2019

期日: 令和元年11月30日(土)～12月1日(日)
 (土)12:00～19:00 (日)10:00～17:00
 場所: 東京国際フォーラム ホールE/ロビーギャラリー
 JR有楽町駅下車、徒歩1分
 内容: 八峰町の特産品の試食・販売

町イチ・村イチって?

全国の町村が一堂に会し、特産品や観光資源などの“宝”を都会の人たちにアピールするためのイベント。町村の特産品の紹介・販売や郷土芸能を披露することにより、特産品の販路拡大や観光など交流人口の拡大による地域活性化に繋げることが狙い。イベントが終わってから実際に町村へ足を運びたいような魅力的なブースが盛りだくさん出店。

AKITAワンダフルフェス in代々木公園

期日: 令和2年1月11日(土)～1月12日(日)
 (土)11:00～17:00、(日)10:00～15:00
 場所: 東京代々木公園イベント広場
 JR原宿駅下車、徒歩10分
 内容: 秋田県各地の郷土料理や観光PRなど
 八峰町はしょつつる鍋を予定



会場(代々木公園イベント広場)への順路

首都圏秋田県人会連合会行事案内

◆第58回芸能大会

期日: 令和元年10月14日(月祝)10:30～17:30
 会場: 文京区役所文京シビックセンター(小ホール)
 東京メトロ南北線、丸ノ内線「後楽園駅」下車、徒歩1分
 内容: 民謡、歌謡、舞踊などの披露

文化部イベントの申込先

八峰町関東ふるさと会副会長 麻木(あさき)
 電話: 03-3859-3660
 ※芸能大会は入場無料、申込不要

◆令和元年度文化部イベント 講演会 「生きてこそ今」

期日: 令和元年11月22日(金)16:00～17:00
 会場: アルカディア市ヶ谷 6F 霧島の間
 会費: 1,000円
 講師: 白川好光
 懇親会(希望者のみ): 演奏会終了後、同会場
 別途会費: 6,000円

白川好光プロフィール

昭和21年北秋田市阿仁荒瀬に生まれる。母4人、父3人に育てられ中学卒業後、大工の道へ。24歳で独立し31歳で不動産会社設立。平成16年、取締役会長に就任。「小さな経営大きな安定」の経営哲学を掲げ子供から大人まで、学校・青少年・一般・法人と各地で講演・指導・相談などを続け小中学校非常勤講師も勤める。



8月 アワビの里づくり祭り



8月 雄島花火大会



6月 八峰中学校運動会

第10回総会・懇親会スナッフ

2018年11月18日(日) 於アルカディア市ヶ谷

紙面の制約上、掲載写真が限られてしまいます。写真は他にもあります。
当会ホームページをご覧ください。 [八峰町ふるさと会](#) で検索
ふるさと会ホームページ・メニュー → ふるさと会について → 総会写真アルバム



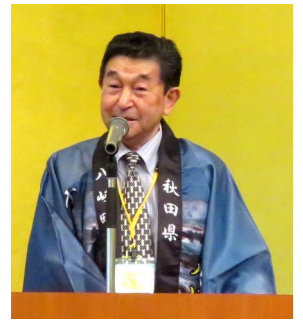
10周年を祝って鏡割り



門協議長乾杯発声



森田町長挨拶



神馬会長挨拶



今年も参加、ありがとうございます



お土産の袋詰め奮闘中



ふるさとの味を持ってきました



きりたんぼ鍋に長蛇の列



おらほの館、白神八峰商工会による物産販売 早い者勝ちで売り切れゴメン



石川郷土芸能保存会の迫力ある駒踊り



茂浦民謡同好会の艶やかな舞



バックの夕焼けに一段と映えます



美女そろい踏み



前町長の加藤さんも参加です



議員さんと仲間たち



抽選会で会長賞ゲット！



男同士の固い絆



のども心もスッキリ！



あふれる緑、大地と共に輝く未来

秋田やまもと農業協同組合

本店 〒018-2104秋田県山本郡三種町鹿渡字町後270
TEL : 0185-87-4600 (代) FAX : 0185-87-4200
代表理事組合長 米森 萬壽美

八峰支店 〒018-2503 秋田県山本郡八峰町峰浜塙字豊後長根65-1 TEL:0185-76-3151(代) FAX:0185-76-3959



四季の語らい、
くつろぎのひととき。



<http://www.arcadia-jp.org>

BANQUET 宴会・会議 ACCOMMODATION 宿泊 RESTAURANT レストラン

JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線) 市ヶ谷駅 徒歩2分

アルカディア市ヶ谷 私学会館

宴会予約直通 03-6685-0540 宿泊予約直通 03-6685-0541
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 TEL 03-3261-9921(代表)



農家民宿

八峰町の生葉を活用した
薬膳メニューにも
チャレンジしております

～笑顔と真心～
一日一組限定のお宿です

〒0185-2505
秋田県山本郡八峰町峰浜
内荒巻家ノ上 41

Tel: 0185-76-3778

Fax: 0185-76-2954

e-mail: motenasi.jun.susiume@ezweb.ne.jp

<http://www.junko-hanamizuki.com/>



東能代駅もしくは向能代駅までの
送迎があります



クオーレ

虹のホール のしろ みたね ふたつ

familiar 家族葬
ハウス ファミリア

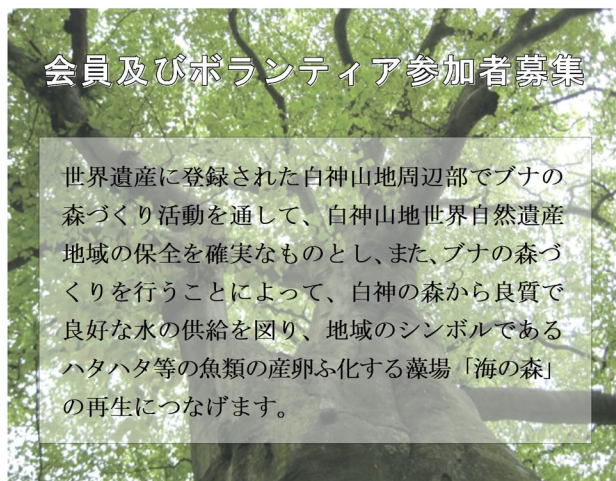


JA葬祭「みどりの会」入会金10,000円でいつまでも安心を

TEL.0185-54-3004
能代市字五雲橋16-3(年中無休・24時間受付)

NPO法人 白神ネイチャー協会

白神ネイチャー協会の活動内容、入会申込等につまましては、下記までご連絡ください。



会員及びボランティア参加者募集

世界遺産に登録された白神山地周辺部でブナの森づくり活動を通して、白神山地世界自然遺産地域の保全を確かなものとし、また、ブナの森づくりを行うことによって、白神の森から良質で良好な水の供給を図り、地域のシンボルであるハタハタ等の魚類の産卵ふ化する藻場「海の森」の再生につなげます。

白神山地 植えようブナを、育てようあなたの心

白神ネイチャー協会事務局

■ TEL: 0185-70-4211 ■ FAX: 0185-70-4214
■ URL <http://www.shirakami.or.jp/~asna/index.html>

小物農機レンタル!

(レンタル機につきましては、1日以上とさせていただきます。)

背負動噴霧器用	1日3,000円	2台	満切機	乗用、ほか	1日5,000円	2台
動力散布機 粉と粒	1日3,000円	2台	管理機	耕巾500mm	1日3,500円	3台
エンジンポンプ φ25mm	1日2,000円	3台	高速洗浄機	エンジン付	1日3,500円	1台
刈払機 背負・肩掛	1日3,500円	5台	発電機	100V、交流12A	1日3,500円	1台
チェーンソー 中 型	1日3,500円	3台	ウイングモア	φ700mm	1日4,500円	1台
ハウス用オーガー φ35mm	1日3,500円	1台	スプレッダー	手 押	1日2,000円	1台

農家のパートナー 小物農機・販売サービス **AV アシザキ NOUKI**
〒018-2504 山本郡八峰町峰浜石川字外林33-21 TEL・FAX 0185-76-2884

病院からもらった処方箋の事など、お薬のことなら専門の薬剤師が丁寧に説明いたします。



LINUS PHARMACY

ライナス薬局

TEL.0185 - 70-4160

FAX. 0185-70-4170 八峰町八森字古屋敷13-6

月～土 / 朝8:00～夜7:00
休日 / 日・祝日

秋田料理 **酒香童子** 鶏味噌焼 **かしわ** 史舟

東京都墨田区
東向島2-30-11-1F
TEL:03-3619-1676

〒131-0032
東京都墨田区東向島2-11-21
でんわ 03-3612-4129

白神山地の大自然と
共に歩んで百有余年

八峰町産の酒米で
造った酒を
海外十一カ国に
輸出しています。

白瀑 Shirataki
山本合名会社

〒018-2678
秋田県山本郡八峰町八森字八森269
電話 0185-77-2311 FAX 0185-77-2312
E-mail info-shirataki@shirakami.or.jp

— 途絶えなかった訳がある —

伝承千年

0120-022170 FAX 0185-77-3601
http://www.suzuki-suisan.co.jp/

米の国・秋田が育んだ **秋田名産**

はなはな 鮎

低温熟成発酵 秋田産 鮎

麹を使わず、お米と人参・生姜でじっくり
低温熟成発酵させた鈴木水産謹製の鮎鮎です。

秋田(株)鈴木水産 SUZUKI SUISAN

苦楽を共にする蔵人、数々の受賞歴は我々の誇り

ふるさとの味と香り、おいしさそのまま贈ります。

秋田名物 **きりたんぼセット**

10月上旬から
2月下旬まで
発送いたします。

地方発送
承ります

申し込みご予約は
TEL. 0185-76-2529 FAX. 0185-76-3156
〒018-2507
秋田県山本郡八峰町峰浜田中字大土面17 **レストラン 峰**
ホームページ <http://www.shirakami.or.jp/~mine/>

能代名物 **志んこ**

～出荷ご希望日の3日前までにご注文ください～
地方発送が可能になりました(「CAS®」装置使用)

味と心で ぐあいさつ ●パイパス店 能代市字下内崎 63-13
TEL 0185-52-1230
www.sekito.jp [上町本店は現在お休み中です]

地方発送のご注文はこちらへ
TEL 0185-54-3131・FAX 0185-54-2433

日本海と白神山地が出逢う宿 海の幸たっぷりのお料理とあったかい温泉で
心と体を癒してください

ご宿泊

- ・美しい景色を一人占め
- ・特別な時間をゆったりと過ごす

八森いさりび温泉

ハタハタ館

ホームページ: <http://www.hatahatakan.jp/>
秋田県山本郡八峰町八森字御所の台51番地
TEL: 0185-77-2770(代)

子どもに夢を！ 誇れる郷土を！
地域に活力を！

2020年

第34回 雄島花火大会

8月15日打ち上げ（毎年）

雄島花火実行委員会

委員長 大山 猛

地域と共に！



SELAグループ
SELAシロキ

Panasonic エルポートシロキ

八峰町八森字中浜 TEL 77-2323・FAX 77-2324

みんなの実家！

令和元年7月1日

OPEN

おーる秋田・ふるさと館



- 首都圏からの帰省時気軽に立ち寄れる場所として利用
- 宿泊研修の利用
- 懇親会利用
- グループでの旅行
- 研修・勉強会に利用
- 出逢いの場に！
- 移住体験場所として
- 帰省時の定宿として
- 趣味の集いに
- 同窓会・同級会利用
- 長期滞在（可）



みんなの実家！ おーる秋田・ふるさと館

門脇家 〒010-0136 秋田県秋田市上新城中片野36-35
090-2660-2000 URL <http://www.all-akita-furusato.jp>

白神の海と大地の夢を育む

白神八峰商工会

会長 大森 三四郎

秋田県山本郡八峰町八森字中浜41-3

TEL:0185-77-3161 FAX:77-3008



白神
秋田・八峰町

あわびの里づくりまつり

令和2年8月第一土曜日開催予定

☆参加者には2年後に「あわび」をお送りします。

おらほの館

地元野菜の直売とご当地ソフトクリーム

TEL0185-76-4649



おいしい

道のレストラン はっぼう ☎76-4455

八峰町峰浜沼田ホソコ谷地147-6 道の駅となり

いのちは次の世代へつながっている



株式会社

東日本メモリアルサービス

代表取締役 成田 竜也（旧鷹巣町出身）

東京オフィス：〒116-0003 荒川区南千住6-30-12-203

秋田オフィス：〒018-3315 秋田県北秋田市宮前町11-6

電話（フリーダイヤル）：0120-565-594

“最も美味しいきりたんぼ鍋”に
とことんこだわりました!!

お取り寄せ

「比内地鶏 きりたんぼ鍋セット」
2~3人前 5,400円

- ・裁き立ての肉と丸ごと野菜
- ・毎日仕込む作り立てのスープ
- ・手造りの肉厚きりたんぼ



秋田比内地鶏生産責任者の店 【お問合せ】

本家あべや秋田店 018-825-1180

〒010-0001 秋田県秋田市中通1-4-3 エリアなかいち商業施設内1F

店頭にて「塩分感受性試験」(ご希望の方に)行っております。

「在宅薬剤管理指導」行っております。

皆川薬局

秋田県糖尿病療養指導士

薬剤師 皆川鉄治・山脇一輝・北林真実

八峰町峰浜沢目駅前 TEL.76-2052・FAX.76-2199

営業時間 8:00~18:00 / 休業日 日曜日・祝祭日

白神山地から湧き出る天然水と、地元農家の青大豆のみを使用



究極の美味 グリーン豆腐

従来の豆腐より栄養価が高く
ほんのり緑色で甘味があり、こくが深く
美味です。

◇◇◇◇松岡食品 おかげさまで創業69年を迎えました◇◇◇◇

〒018-2664 山本郡八峰町八森字古屋敷43-3

松岡 清悦 ・ 松岡 清也

TEL 0185-77-2024 FAX 0185-77-3646

E-mail : info@matsuoka-foods.com



◆◆和洋菓子舗◆◆

八峰町のおみやげに



カステラドーナツ



チーズブッセ

美味しいお菓子の店

高峰堂

八峰町峰浜崎字豊後長根145 TEL 0185-76-2041

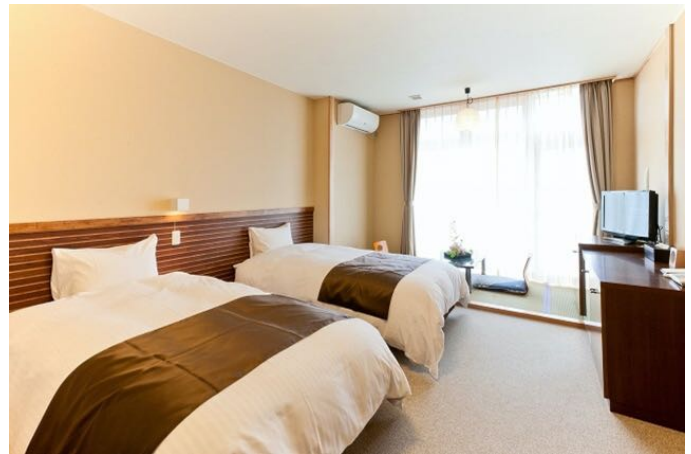
営業時間 7:00~19:30 不定休

森のリゾート、海のリゾート

あきた白神温泉ホテル

八峰町八森字磯村100番地

TEL 0185-77-2233



八森海鮮紀行

日本海の旬の魚
家庭へ届けます

0185-77-2255

八森海鮮紀行

秋田県山本郡八峰町八森字横間 156 番地先

秋田県漁業協同組合
北部総括支所

第11回八峰町関東ふるさと会総会・懇親会案内

★開催日：令和元年11月17日(日)

★会場：アルカディア市ヶ谷

★受付：10時30分～

★総会：11時30分～11時50分

★特別講演：11時50分～12時20分

★懇親会：12時30分～15時30分

★懇親会費：6,000円

学生：3,000円、小学生以下：無料

★年会費：1,000円

★会場へのアクセス

地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 1またはA1出口

地下鉄新宿線 市ヶ谷駅 A1またはA4出口

JR中央・総武線(各駅停車) 市ヶ谷駅

例年より30分早く
なっていますので
ご注意ください



特別講演 読売新聞特別編集委員 橋本 五郎 「どうなる日本の政治」



1946年秋田県生まれ。70年慶應義塾大学法学部政治学科を卒業後、読売新聞社入社。75年本社社会部、76年より政治部、論説委員、政治部長・編集局次長を歴任。99年からは日本テレビ系列「ジパングあさ6」「ズームイン!!朝」でニュース解説を担当。2006年より特別編集委員。日本テレビ「スッキリ」読売テレビ「ウェークアップ!ぷらす」「情報ライブ ミヤネ屋」にレギュラー出演。2014年度日本記者クラブ賞受賞。主な著書に『宿命に生き 運命に挑む』(藤原書店)『官房長官と幹事長』(青春新書インテリジェンス)『心に響く51の言葉』など多数。

特別ゲスト：津軽三味線奏者 田中 優子

秋田県鹿角市花輪町生まれ。幼いころから花輪祭りのお囃子のジャズ的リズム、雅さ、メロディが大好きだった。大人になり、そのイメージにぴったりの曲に出会ったのが津軽三味線だった。その後、津軽三味線小山会に入門。津軽三味線は人生の生き甲斐である。※当日、歌(民謡)を披露してくれる方(2名程)を募集します。応募多数の時は抽選になります。



<ふるさとへの提言> 広報「はっぼう」には毎月町の人口が掲載されていますが、本年7月末の人口はご存知でしょうか。7,031人で前月度から11人の減少です。かつて八森地区には小学校が3校ありましたが、現在は統合されて1校だけ。それも各学年一クラスで今年の1年生は11名、2年生は8名！町の将来を背負って立つ子供らがこの状況では町はどうなるのかと非常に心配です。町ではこれまで移住者推進や婚活イベント等々各種対策を実施してきましたが、少子高齢化は全国地方自治体共通の課題であるだけに簡単な解決策はありません。そこで一案です。今大都市では働き方改革の一環として、ホワイトカラーの生産性向上とワークライフバランスの改善の両立を目指して、「テレワーク」を熱心に進めている企業が増えています。テレワークはインターネット環境があれば場所を問わずに成立します。一方、若い子育て世代には毎日の長時間通勤や住環境に疑問を感じている方がいます。そのような世代へ町の教育レベルの高さと海あり山ありの自然環境の素晴らしさは強力な武器となります。町は眺めの良い場所へ共有のテレワークオフィスを建てて高速・大容量のインターネット環境を用意するだけ。例えば雄島の見えるバイパス沿いの高台へ最初は50人規模でどうでしょうか。移住者へは空き家をリフォームして安く提供。所属会社も仕事内容も変わらないので、農林漁業へ転職して安定的に家族を養っているかの心配も無し。是非テレワークに力を入れている企業へトップセールスを仕掛けていただきたいと思います。(白木)

八峰町関東ふるさと会 役員一覧

- 会長：戸田 眞里
- 副会長：麻木 固磨
北郷 洋子
成田 勘一
- 幹事長：芹田 忍
- 副幹事長：船越 鉄実
本多 義春
- 幹事：飯田 良子、須藤 正喜
大久保 澄子、白木 仁
塚本 薫、塚本 康子
三浦 博、吉江 后子
- 監査：福田 稔、黒浜 茂子

八峰町関東ふるさと会事務局

〒253-0004

神奈川県茅ヶ崎市甘沼880-9 芹田 忍 方

TEL/FAX 0467-54-2007

- ◆ 発行：八峰町関東ふるさと会
- ◆ 発行責任者：戸田 眞里
- ◆ 編集委員：須藤 正喜、飯田 良子、白木 仁
芹田 忍